

しんじゅくトークにおける意見及び区の方考え方

意見提出件数：5件（5名）

番号	要旨	意見の概要	区の方考え方
1	検診方法について	医療の進歩に伴って、検診内容を見直してほしい。例えば、現在、胃がん検診ではバリウム検査が実施されているが、今後は内視鏡検査を取り入れてはどうか？	<p>区は、国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に従って、科学的根拠に基づき、がん検診を実施しています。</p> <p>区で行う「一次検診」は、健康な方と、少しでもがんの可能性が疑われる方を見極めてふるい分ける検査のため、多数の方を一律的に検査する必要があります。そうした目的と効率性等からも、「一次検診」ではバリウム検査（胃X線検査）の方が適していると考えています。</p> <p>なお、一般的に内視鏡検査は、胃がんや潰瘍が疑われた際に、診療の一環として実施されています。</p>
2	不妊治療への助成について	東京都が行っている不妊治療の助成に上乗せして、新宿区でも不妊治療の助成を実施してほしい。23区のうち、複数の区で既に上乗せ助成を実施しているところもある。	<p>東京都は、高額の治療費がかかる特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）について、経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない治療費の一部を助成しています。</p> <p>区では、不妊治療の助成に関して、特別区における実施状況の調査を進めています。</p> <p>今後区において、不妊治療に対し、都制度に上乗せして公的助成を実施することについては、必要性の判断、他の施策の優先順位など、今後議論を尽くしていく必要があると考えています。</p>

3	がん検診の無料化について	がん検診の費用について、他区では無料のところもあるが、新宿区では無料化の方向にはならないのか？	<p>区では現在、受診する方ががん検診にかかる経費の一部を負担していただいています。ただし、低所得の方には費用の免除などの配慮もしています。</p> <p>区としては、自分の健康には自分で高い意識を持っていただくこと、また受診者のご負担はがん検診にかかる経費の約 1 割であることから、今後ともご負担もいただきつつ、検診を受診いただきたいと考えています。</p>
4	こころの健康について	<p>健康づくりに関し、一人ひとりの心の苦しみや人間関係をどう理解していくかということが大事だと感じている。</p> <p>そのためにも地域での顔の見える関係づくりが大事ではないか。</p>	<p>「こころの健康」については、本計画において重要課題と位置づけ、こころの病気の予防に関する正しい知識や上手なストレス対処方法を学ぶ機会などの提供等、普及啓発を進めてまいります。</p> <p>また区では、当事者の心の不調に周囲の人が早めに気づき、声かけ等適切な対応ができるよう「ゲートキーパー養成講座」等を実施し、社会全体で支え合えるよう取り組んでいきます。</p>
5	肺炎球菌ワクチンへの助成について	<p>高齢者の死亡原因には肺炎が多い。</p> <p>肺炎球菌ワクチンを打つと、かかりにくいと医者が言っているが、接種費用が高い。区で助成する考えはあるのか？</p>	<p>高齢者肺炎球菌ワクチンは、予防接種法で接種が義務付けられている予防接種ではなく、個々人の方の判断で接種していただく任意の予防接種で、その費用についてはご本人の負担となるものです。</p> <p>区は、子宮頸がん予防ワクチンなどとともに高齢者肺炎球菌ワクチンについても、国に対して、定期予防接種として位置付け、財源措置を講ずるよう特別区長会や全国市長会を通じて要望しております。</p>

			<p>国の動向や区の財政状況を見極めた上で、高齢者肺炎球菌ワクチンへの費用助成について、各種予防接種の優先度なども含めて検討してまいります。</p>
--	--	--	--